

協定企業名	三愛石油株式会社
交流行事名	「三愛石油オブリの森」体験型環境研修
開催日時	平成 27 年 10 月 18 日（日） 9：55～15：00
開催場所	「三愛石油 オブリの森」（本山町七戸 町有林）ほか
主な参加者・人数	三愛石油(株)社員の皆さん（29名） 汗見川活性化委員会（1名）本山町（16名）、高知県（5名） 総勢51名
概要	間伐体験、食事交流会、餅つき体験、稲刈り体験
当日の様子	<p>暑いぐらいの晴天に恵まれた今年の「三愛石油オブリの森」体験型環境研修には、約半数が高知県を訪れるのは初めてという総勢29名の三愛石油社員の皆さんに参加していただきました。</p> <p>汗見川ふれあいの郷「清流館」で開会式を行いました。本山町の今西町長から歓迎の挨拶と、三愛石油の金田社長から社員の皆さんへ研修の意義などについてお話しがありました。そして、いざ間伐へ出発！！</p> <p>間伐地までは作業道を車で10分程度移動したあと、徒歩で10分程度、急な斜面を慎重に登りました。</p>   <p>間伐作業は3班に分かれ、汗見川活性化委員会の山下会長と、本山町及び県の職員の指導のもとに行われました。</p>    

今回の作業現場はヒノキが鬱蒼と茂り、まさに間伐が必要な状況です。ピンクのテープが巻かれた木を中心に間伐していきます。まず、その木をどちらに倒すか周りの木の様子や、枝の付き方、木の重心を見定め、方向を決めます。

倒す方向が決まれば、受け口、追い口を作ります。社員の皆さんが、一生懸命に息を切らせて、交代しながら木にノコギリを入れていきます。

なんとか木が倒れ始めますが、生い茂ったヒノキは「かかり木」になり、簡単には倒れてくれません。社員の皆さんも、間伐作業の大変さを痛感したのではないのでしょうか。



間伐後は、「清流館」に戻り、お楽しみの昼食会。汗見川生活改善グループの皆さんがつくってくださった酢豚ならぬ酢鹿や、手打ちそば、菜めしにかき揚げ、こんにやくの白和えなど、たくさんの種類の郷土料理に舌鼓を打ちました。その後、社員の皆さんで協力して餅つき体験です。ヨモギ入りのお餅と白いお餅の2種類をつき、アンコを包んで出来上がりです。つきたてのあたたかいお餅に、皆さん大満足の様子でした。



午後からは稲刈り体験です。

稲は、全国的に有名になった「土佐天空の郷米・ヒノヒカリ」。黄金に輝く稲を、社員の皆さんで刈っていきます。今年は天候不順の影響か生育が余り良くないということで、1時間足らずですべての稲を刈り終わりました。刈った稲は乾燥した藁を使って束ね、丁寧に稲束をつくります。落穂も残さないように拾い、昔ながらの天日干しにして、稲刈り体験は終了しました。

作業中は日差しが厳しく、暑い中の作業となりましたが、終わった後には冷たいゆずジュースをいただきました。



最後は、「清流館」に戻り、来年の再会を楽しみにしつつ、閉会となりました。

三愛石油の社員の皆さん、今日は一日お疲れさまでした。来年も是非、本山町へお越しください。

